

募 集 事 業 概 要

事業名	育児休業中の子育て支援事業	
単位施策	単位施策 1-1 親子ともに健やかな育ちを推進する	
事業目的 及び内容	<p>職場復帰を見据え、育児休業を取得しながら育児を行う保護者に対して、親同士の交流の場を設け、育児や職場復帰に対する不安を解消するための講座や子育て支援情報の提供等を行うことにより、育児と仕事の両立及び男性の育児参画を支援する。</p> <p><対象> 市内在住在勤で職場復帰を目指す子育て中の方やそのパートナー</p> <p><回数> 2クール（1クール最大6回（1回あたり2時間程度））</p> <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・育児と仕事の両立支援に関する講座やワークショップの開催（1クール2回以上実施） ・男女の家事育児負担の平均化を図るため、タスクシェアや夫婦間でのコミュニケーション向上に繋がる講座やワークショップ等の開催（1クール1回以上実施） ・子育て支援情報の提供（幼児保育課による保育園入園に関する内容を含む） ・親同士がコミュニケーションを取れる機会の提供 	
成果目標	短期 (1年目～6年目)	育児休業中で初めて子育てをする保護者を対象に、親同士の交流の場を設け、講座や子育て支援情報の提供等を行うことで、育児や職場復帰に対する不安が軽減される
	中期 (7年目～15年目)	受講者同士のつながりにより、働きながら子育てをする親のネットワークができる
	長期 (16年目以降)	育休復帰を経験した方が、新たに育休を取得する方をフォローする循環が生まれ、働きながら子育てをすることに対する不安が軽減される
	今回の募集で目指すレベル	短期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 中期 ・ 長期
背景と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・女性就業率の上昇に伴い共働き世帯が増加し、職場復帰や就労継続への不安が増している。 ・核家族化の進展、共働き家庭の増加、地域とのつながりの希薄化など、家族の在り方や家族を取り巻く環境が多様化しており、自分の生まれ育った地域以外で子育てをする家庭や、不安や悩みを誰にも相談できず、孤立感や負担感を抱えながら子育てを行う家庭が増えている。 ・コロナ禍を経て、同じ環境の親同士の交流や、不安を共有する機会が減っており、親同士が職場復帰に対する不安や育児ストレス等 	

	<p>を軽減するきっかけ作りを提供したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法改正に伴い、男性の育児休暇取得率が増加する中、女性に偏る傾向にある家事・育児については夫婦の支え合いが必要であり、男女の家事育児負担の平等化を図るため、男性の家事・育児参画が促進できる機会を提供したい。
期待すること	<p>(協働により得られる効果について記入してください。)</p> <p>市民のニーズが多様化・複雑化する中で、地域での活動実績や団体として構築されたネットワークを持つ団体と協働で行うことにより、自由な発想で行政とは異なる角度から多彩なアプローチで課題の解決に取り組むことができ、市民ニーズを的確かつ柔軟に取り入れた事業の実施が期待できる。また、育児休暇に関する制度改正に対しても、団体がつながりを持つ育休復帰を先進的に進めている企業等と連携することで、育休復帰の好事例を交えながら、的確な情報をアナウンスすることができ、育休制度の周知拡大や、育休復帰に向けた市民の不安解消が期待できる。</p>
その他 (注意事項)	<ul style="list-style-type: none"> ・各回、託児を設けること ・乳児3人に2人程度の託児者を配置すること ・講習終了後にアンケート調査を実施すること
予算(千円)	<p>総額 1,455 千円</p> <p><内訳></p> <p>人件費、講師謝礼、講師費用弁償、託児備人料、郵送料、事業用消耗品等、間接費、消費税を含む</p> <p>(光熱水費、施設管理に係る経費は市が支出する)</p>
<p>こども課 こども企画調整担当</p> <p>052-603-2211 又は 0562-33-1111 (内線682)</p>	